

静岡市ごみ減量実践学習プログラム

学習指導書

令和2年8月作成

静岡市環境局ごみ減量推進課

はじめに

本文書は、静岡市ごみ減量実践学習プログラムの指導者向けの学習指導書です。本プログラムは児童向けと大人向けの 2 種類があり、両プログラムとも、学習教材（ワークブック）を使用した家庭での取組と小学校や自治会などで行われる体験学習で構成されています。

次ページ以降に児童向け、大人向けそれぞれのプログラム指導書を示します。

静岡市ごみ減量実践学習プログラム指導書（児童向け）

1. プログラムのテーマ

静岡市ごみ減量実践学習プログラムは、テーマに「ごみをへらす3つのミッションにチャレンジ!!」を掲げ、「さあ、はじめよう！未来のためにできること」をサブテーマとしています。プログラムに取り組む児童が自分たちに与えられたミッションを通して自身の未来を考え、ごみを減らすために自らできることを考え行動することを促すテーマとなっています。

2. プログラムの目的

本プログラムは、小学校での体験学習、ワークブックを使用した家庭での実践行動、取組へのフィードバックで構成され、事後学習につなげられるようになっています。これら一連の学びや取組を通して家庭でごみの減量化・資源化に向けた実践的な行動につなげ、更には、家庭のリーダーとなって大人を巻き込んだ行動ができる児童を育成するプログラムの提供を目的としています。

3. 対象

本プログラムは、小学校4年生程度を対象としています。

4. プログラムの概要

本プログラムは、オリジナルワークブックを使い、体験学習と実践行動を交えながら子どもたち自身にごみを減らす意味や方法を考え、学んでもらう学習プログラムとなっています。新学習指導要領に定められた「持続可能な社会の創り手」の育成のための学びを提供するとともに、社会科や総合的な学習の時間と関連付け、ごみに関する学習をより深めることに役立つ内容になっています。

本プログラムは、以下に示すステージで構成されています。

①学校での体験学習（90分）

ミニ講座、生ごみ・紙ごみ・プラスチックごみに関する体験学習などを通して、家庭での実践行動に向けた事前学習を行います。

②家庭での実践行動（1週間程度）

ワークブックを活用して家族とともに生ごみ、紙ごみ、プラスチックごみの現状を調査し、それらのごみを減らす作戦を立て実践します。

③取組へのフィードバックと事後学習

評価ツールを使用して児童ごとの取組やこれからの目標を評価しフィードバックするとともに、今後も取組を継続するよう働きかけます。

5 プログラムの実施手順

それぞれのステージの実施手順を以下に示します。

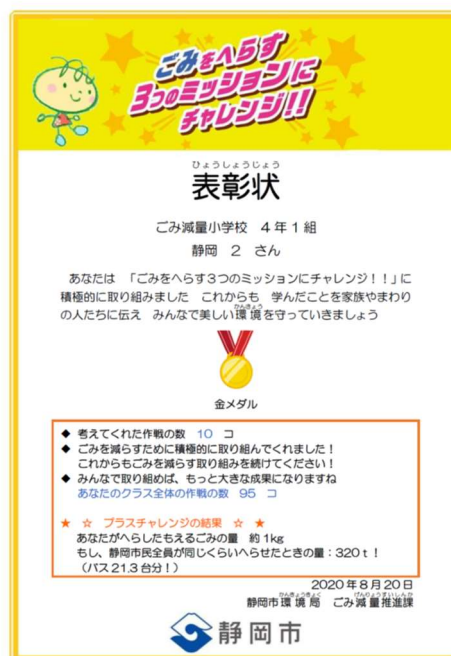
①学校での体験学習（90 分）		
内容	ねらい	ワークブック
【ミニ講座】 ごみを減らす目的、ごみの内訳、4R などについて、ミニ講座を通して学ぶ 【体験コーナー】 生ごみを減らすためにクイズなどを通して食品ロスについて学んだり、紙ごみの分別ゲームなどを体験し学んだことをもとに P3 を記入 プラスチックごみに関する体験を通して気づきを得るとともに、プラスチックごみ削減について考えるために P4 を記入 【まとめ】 ワークブックの「すてる前のできることを探し」について考える P5～6 の作戦を考える	静岡市のごみ問題について知るとともに、ごみを減らすために自分たちにできることがたくさんあることに気づいてもらう 体験学習を通して、家庭での実践行動のための知識や考え方を身につけてもらう 家庭での実践行動に向けた具体的な気づきを得る	ミッション 1 (P1～2) ミッション 2 (P3～4) ミッション 3 (P5～6)

②家庭での実践行動（1週間程度）		
内容	ねらい	ワークブック
①家の生ごみ、紙ごみ、プラスチックごみについてどのくらいあるかを調べ、P5に記入、P6にそれぞれを減らす作戦を記入する ②作戦を1週間実行しP6に結果を記入する ③ふり返りとして、P7に以下を記入する ・チャレンジの達成度を○△×で記入 ・今後の「がんばる宣言」を星の数で記入 ・チャレンジの感想 ・家の人コメント (プラスチャレンジは挑戦したい児童のみ) ④ワークブックを分析者に提出する	4R など体験学習で学んだことを実践することで、実際にごみを削減するための行動に結びつけてもらう 家族と一緒に取り組むことで、ごみの削減について家族で意識を高めてもらう ○△×で評価することで、達成度を見える化する チャレンジの達成度だけでなく、今後に向けた意気込みを評価する 家の人コメントから、ごみ減量の行動変容について、子どもから家族（大人）への波及効果を見る	ミッション3 (P5～7)



体験学習・実践行動で使用するワークブック（※表紙の色：黄色）

③取組へのフィードバックと事後学習		
内容	ねらい	ワークブック
ワークブックとともに子どもたち一人ひとりの結果をまとめた表彰状を作成し、返却する 【表彰状記入事項】 ・作戦の数、作戦の達成度、今後のがんばる宣言に応じた「金賞」「銀賞」「銅賞」の記載 ・考えた作戦の数 ・達成度に応じたコメント ・クラス全体の作戦の数 ・プラスチャレンジの結果 クラスごとの数値変化・行動変化の集計シートを作成する クラスごとの集計結果や表彰状などを用いて振り返りを行うとともに、次の学びへつなげる	子どもたちの取組を評価し、そのがんばりを認めることで今後も続けていこうという意欲をもってもらおう 自分だけでなくクラス全体の取組結果を知ること、みんなで力を合わせることで大きな結果につながることを実感してもらう	必要に応じて使用



児童一人ひとりに贈る表彰状

6. 学校での体験学習のタイムスケジュール例

概要	内容	所要
開会	・授業開始のあいさつ ・本日の概要紹介	5 分
ミニ講座	①ごみ減量ミニ講座 ・ごみを減らす目的、ごみの内訳、4R などについてスライドを使った講座	15 分
移動	体験学習の紹介と移動	5 分
体験 1	②生ごみ・紙ごみについて ・食品ロスに関するクイズ ・食品ロスにどんなものがあるか知り減らす方法を考える ・リサイクルできる紙とできない紙の分別ゲームと解説 ・ワークブック P3（紙ごみを減らすヒント）の記入 など	20 分
体験 2	③プラスチックごみについて ・砂浜にある小さなプラスチックごみを観察 ・海洋プラスチックごみの起源に関するクイズ ・ワークブック P4（4R について）の記入 など	20 分
移動	移動（ミニ講座の場所に戻る）	5 分
まとめ	④まとめ ・ワークブック P4（できること探し）について ・ワークブック P5～6 の作戦を考える ・今後の取組についての説明 ・授業終了のあいさつ	20 分
合計		90 分

静岡市ごみ減量実践学習プログラム指導書（大人向け）

1. プログラムのテーマ

静岡市ごみ減量実践学習プログラムでは、テーマに「ごみを減らす 3 ステップにチャレンジ!!」を掲げ、「さあ、はじめよう！未来のためにできること」をサブテーマとしています。プログラムに取り組む地域住民が未来を考え、ごみを減らすために自らできることを考え行動することを促すテーマとなっています。

2. プログラムの目的

本プログラムは、自治会等で行う体験学習、ワークブックを使った家庭での実践行動、取組後の行動変容の分析とフィードバックで構成され、事後の実践につなげられるようになっています。これら一連の取組を通して地域住民のごみの減量化・資源化のための意識を醸成し、更には静岡市のごみの減量につながる実践的なプログラムの提供を目的としています。

3. 対象

本プログラムは、自治会等の構成員等を対象としています。

4. プログラムの概要

本プログラムは、オリジナルワークブックを使い体験学習と実践行動を交えながら学ぶ構成となっています。実践的な行動を促すとともに、取組後の行動変容を実施団体にフィードバックできる内容になっています。

本プログラムは、以下に示すステージで構成されています。

①自治会等での体験学習（45 分）

ミニ講座、生ごみ・紙ごみ・プラスチックごみに関する体験学習などを通して、家庭での実践行動に向けた事前学習を行います。

②家庭での実践行動（1 週間程度）

ワークブックを活用して生ごみ・紙ごみ・プラスチックごみの現状を調査し、それらのごみを減らす作戦を立て実践します。

③取組へのフィードバック

取組後のアンケートをもとに、受講者の行動変容を分析し実施団体にフィードバックします。

5 プログラムの実施手順

それぞれのステージの実施手順を以下に示します。

①自治会等での体験学習（45 分）		
内容	ねらい	ワークブック
【ミニ講座】 ごみを減らす目的、ごみの内訳、4R などについてのミニ講座を通して学習する 【体験コーナー】 生ごみ・紙ごみ・プラスチックごみに関するクイズなどを体験 ※パワーポイントを使用して講座形式で行う場合もある 【まとめ】 ワークブックの「すてる前のできることを探し」について考える 今後の取組についての説明	静岡市のごみ問題について知るとともに、ごみを減らすためにできることがたくさんあることに気づいてもらう 体験学習を通して、家庭での実践行動のための知識や考え方を身につけてもらう 家庭での実践行動に向けた具体的な気づきを得る	ステップ 1 (P1～2) ステップ 2 (P3～4) ステップ 3 (P5～6)
②家庭での実践行動（1 週間程度）		
内容	ねらい	ワークブック
①家の生ごみ、紙ごみ、プラスチックごみについてどのくらいあるかを調べ P5 に記入、P6 にそれぞれを減らす作戦を記入する ②作戦を 1 週間実行し P6 に結果を記入する ③プラスチャレンジは挑戦したい場合のみ	4R など、体験学習で学んだことを実践することで、実際にごみを削減するための行動に結びつけてもらう 取組を通して、ごみの削減について家庭での意識を高めてもらう 結果を記入することで、達成度を見える化する	ステップ 3 (P5～7)
③取組へのフィードバック		
内容	ねらい	ワークブック
受講者は、取組後のアンケートに回答する	受講者の行動変容を分析し実施団体にフィードバックする	—



体験学習・実践行動で使用するワークブック（※表紙の色：青色）

ごみを減らす3ステップにチャレンジ アンケート集計結果

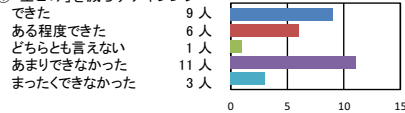
発行日 2020/8/20

サンプル ごみ減量クラブ様

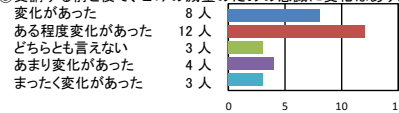
アンケート回収: 30人

回収率: 86%

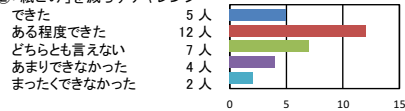
①「生ごみ」を減らすチャレンジ



⑤受講する前と後で、ごみの減量のための意識に変化はありましたか



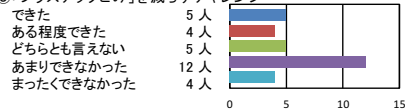
②「紙ごみ」を減らすチャレンジ



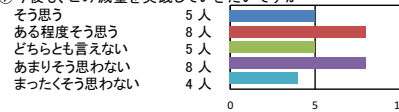
⑥受講する前と後で、ごみの減量のための行動に変化はありましたか



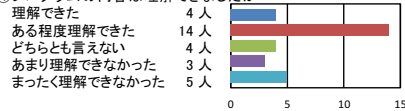
③「プラスチックごみ」を減らすチャレンジ



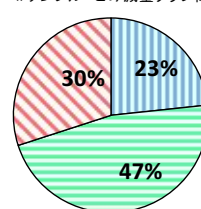
⑦今後も、ごみ減量を実践していきたいですか



④プログラムの内容は理解できましたか



《サンプル ごみ減量クラブ様 全体評価》



- 28点以上
 - ☆☆☆ すばらしい！今後もこの調子でごみ減量を実施していきましょう
- 27点～21点
 - ☆☆ もうひと頑張り！工夫してさらにごみ減量を実践していきましょう
- 20点以下
 - ☆ まだまだ！プログラムの内容を振り返って、ごみ減量を実践していきましょう

静岡市環境局 ごみ減量推進課
TEL:054-221-1075

アンケート 集計例

6. 大人向けプログラムのタイムスケジュール例

概要	内容	所要
開会	・ 開始のあいさつ ・ 本日の概要紹介	2 分
ミニ講座	①ごみ減量ミニ講座 ・ ごみを減らす目的、ごみの内訳、4R などについてスライドを使った講座	8 分
体験	②生ごみについて ・ 食品ロスに関するクイズ ・ 食品ロスにどんなものがあるか知り減らす方法を考える ③紙ごみについて ・ リサイクルできる紙とできない紙の分別ゲーム ・ 雑紙の見分け方 ※パワーポイントを使用して講座形式で行う場合もある (分別ゲームを分別クイズに変更する) ④プラスチックごみについて ・ 海洋プラスチックごみの起源についてなど	25 分
まとめ	④まとめ ・ ワークブック P4（できること探し）について ・ 今後の取組についての説明 ・ 終了のあいさつ	10 分
合計		45 分